

2022年度第1回町田市食育推進計画策定及び推進委員会 会議録要約

会議体の名称	町田市食育推進計画策定及び推進委員会	
事務局（担当課）	保健所 保健予防課	
開催日時	2022年7月22（月） 13：30～15：30	
開催場所	オンライン及び会場開催（町田市庁舎2-5会議室）	
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 所長挨拶 3 委員挨拶 4 委員長選出 5 委員長挨拶 6 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 新食育推進キャラクターの活用について (2) 第2次町田市食育推進計画進捗管理シートについて 7 報告 <ol style="list-style-type: none"> (1) 次期食育推進計画の策定について (2) SNS の活用、及び食育カレンダーの作成について 8 事務連絡 9 閉 会 	
公開の可否	会議	公開
	会議録	公開
出席者	委員	調所 勝弘 （学識経験者） 戸羽 一 （東京都町田市歯科医師会） 千葉 勢子 （町田市法人立保育園協会） 大崎 志保 （町田市私立幼稚園協会） 岩崎 直美 （町田市公立小学校校長会） 矢島 加都美 （町田市公立中学校校長会） 進藤 悠 （市内小学校栄養教諭） 川上 璃子 （市内高等学校教諭） 米澤 加代 （市内大学教員） 佐藤 孝一 （市内農業者） 竜崎 常明 （東京都町田食品衛生協会） 栗原 慶史 （町田集団給食研究会） 村上 律子 （町田地域活動栄養士会） 亀田 文生 （町田市観光コンベンション協会） 大野 薫里 （町田市公立小学校 PTA 連絡協議会） 大澤 彩 （町田市立中学校 PTA 連合会）

	事務局	保健予防課
欠席者	委員	五十子 桂祐 (町田市医師会) 新倉 敏和 (町田市農業協同組合) 松井 大輔 (町田商工会議所)

配付資料	資料1 町田市食育推進キャラクターの活用について 資料2 町田市食育推進キャラクターの使用に関する事務取扱要領 資料3 町田市食育推進キャラクター使用申請書 資料4 第2次町田市食育推進計画進捗管理シート 資料5 2021年度に実施した食育推進事業について 資料6 (仮称)次期まちだ健康づくり推進プランの策定について 資料7 保健医療意識調査の実施について 資料8 保健医療意識調査の対象者について 資料9 SNSの活用、及び食育カレンダーの作成について 町田市食育推進計画策定及び推進委員会委員名簿 第2次町田市食育推進計画
------	--

検 討 経 過

1 開 会

2 所長挨拶

欠席のため省略。

3 委員挨拶 自己紹介

4 委員長選出

町田市食育推進計画策定及び推進委員会設置要綱に基づき、委員の互選により委員長、及び委員長代理を選出した。

委員長は、学識経験者である調所委員が務めることとなった。

委員長代理は、市内大学教員である米澤委員が務めることになった。

5 委員長挨拶

6 議事

(1) 新食育推進キャラクターの活用について

委員長：まずは、事務局から説明を願いたい。

事務局：【資料1】町田市食育推進キャラクター活用について

町田市では、町田市食育推進計画の策定時(2013年)に、市内で生産されている農作物をモチーフにした「まちだ食育クインズ」を作成した。学校給食や関係機関における食育の場で活用いただいているところだが、動画等のデジタル化に対応した食育推進のため、キャラクターをリニューアルした。新キャラクターは、前任委員長のご厚意で、前委員長が所属している大学の学生が作成してくださった。

新キャラクターの愛称「まち☆ベジーズ」については、6月食育月間に市民投票で決定した。

新キャラクター使用については、【資料2】に基づき、食育推進を目的として積極的に活用していただきたい。使用する際は【資料3】の提出をお願いしたい。キャラクターの使用に関する詳細は、後日関係者の皆様に通知し、町田市ホームページへも掲載する予定。

旧キャラクターの使用については、すでに作成・活用いただいている媒体もあるため、2024年3月の第2次町田市食育推進計画終了を目途に、新キャラクターに切り替えていただきたい。移行期間として、新旧のキャラクターが混在する期間があるがご了承いただきたい。

本日は議事として、委員の皆様から新キャラクターの活用方法についてご意見をいただきたい。

委員長：使用基準に異議はないか。

委員一同：なし。

委員長：キャラクター活用方法等について意見はないか。

委員：小学校のホームページで紹介するなどの活用方法も考えられる。使用したい場合はキャラクターのデータを送っていただけなのか。

事務局：使用いただける場合は、事務局からデータを送付する。

委員長：かわいらしいキャラクターでもあるので、町田市民に根付くとよいと思う。ぜひ、活用していただきたい。

(2) 第2次町田市食育推進計画進捗管理シートについて

委員長：まずは、事務局から説明を願いたい。

事務局：2021年度町田市食育推進計画進捗管理シートの作成にご協力いただき、感謝申し上げます。

このシートは第2次町田市食育推進計画の進捗状況を把握するために毎年度作成している。本議事では、2021年度の食育を振り返りつつ、今後どのような食育に取り組むべきかという事についてお話しいただきたい。

始めに、資料について説明する。

進捗管理シートの見方を【資料4-1】にまとめている。

進捗管理シートは3種類に分かれており、2021年度 of 取組件数を視点別お

よび対象別に集計したものが【資料4-2】である。

【資料4-3】は、第2次計画において達成したい評価指標について、2021年度時点での達成度合いをまとめたものである。

【資料4-4】は2021年度の食育事業の一覧である。

【資料4-2】をご覧いただきたい。

町田市の食育は食育のめざす姿を『食の「わ」で育むまちだの未来』として5つの視点に分けて取り組んでいる。

視点別取組件数（【資料4-2】中段）としては、視点1『栄養バランスの推進』に向けた取り組みが23件と最も多い。反対に視点2『食中毒等の予防』が3件と最も少ない。取組件数は感染症の影響によって減っており、特に視点3『共食・食事マナー』のにおいて、顕著に表れている。共食は食事マナーの伝達、人間関係の構築やコミュニケーション、食事の美味しさの向上等につながると考えられるため、感染対策を講じながら推進していきたい。

次に【資料4-3】について説明する。

評価指標は2022年度市民意識調査結果から評価するものが多くある。

2021年度の値で評価可能な項目の中には、達成の見通しが立っているものもあるが、一部指標は感染症の影響を受けている。

【資料5】には2021年度に実施した食育の一例をまとめた。

委員長：進捗管理シートからわかる2021年度の食育推進について意見はないか。

委員一同：無し。

委員長：まだまだ感染症の影響を受ける場面が多くあるが、進捗管理シートに記載のとおり、様々な食育が行われた。

小・中学校における朝食レシピコンテストについて、矢島委員からお話いただきたい。

委員：中学校では夏休みにおける課題として実施しており、今年度で3回目となる。感染症の影響により、学校での調理実習が難しい。そのような中、本取組によって調理技能や栄養について学ぶことができている。生徒はやる気満々。中学校給食のメニューにも取り入れた。

委員長：小学校はどうか。岩崎委員からお話しいただきたい。

委員：小学校は対象を6年生とし、昨年度から実施。任意の参加ではあったが、沢山の応募があった。家庭科において学ぶ前ではあったが、どの作品も素晴らしか

った。

8月2日～4日には市庁舎2階食堂で受賞者のレシピが提供される。また、2学期の給食においても、提供を予定している。

委員長：小・中学校のレシピコンテストについて、何か質問や意見はあるか。

委員：3点伺いたい。

1点目。昼食や夕食ではなく、なぜ『朝食』レシピなのか。

給食での提供を考えると、昼食のほうが良いのではないか。また、朝食から手間をかけるのは難しいのではないか。

2点目。なぜ6年生が対象なのか。

受賞メニューを給食で提供する際など、レシピの考案者はすでに卒業しているため、かわいそうである。6年生であっても家庭科の授業前の実施になるのであれば、対象を5年生にするのも良いのでは。

3点目。提出は任意か。保護者の意見としては、家庭での『食育』を求められると負担に感じる。

委員：1点目、『朝食』とした理由は、子どもの朝食喫食率がとても低いためである。自分で簡単に朝食を準備できることや、朝食で栄養を摂ると元気になること等を生徒自身に学んでもらうために実施している。給食で受賞メニューを提供する際は、内容や栄養量について栄養士が調整している。

2点目、対象学年についてだが、年間指導計画の関係で家庭科の授業前に実施せざるを得なかった。今後、レシピコンテストが定着していくようであれば、より望ましい順序で実施できる。また、受賞レシピの提供は学校給食だけでなく、市庁舎食堂やゼルビアキッチン等を活用し、卒業後も味わえるよう配慮している。

3点目、中学校では夏休みの課題として、実施している。小学校から積み重ねてきた知識や技能で作れ、かつ経済的にも無理のない範囲で実施している。

委員：小学校において、朝食を食べずに登校する子どもは少なくない。

夏休みに自分で作って、食べることの大切さを学んでもらうために実施した。

また、今回給食で提供するレシピについては、学校栄養士が栄養バランス等調整したうえで提供する。

3点目の質問について、小学校では提出を任意としている。食育は学校だけでできるものではない。家庭でも一緒に取り組んでいただきたい。

委員：学校から配布された案内には、町田産の野菜を使うように記載されている。いつも行くスーパーには売っておらず、どこで買えるかも知らない。購入できる場所の一覧など情報が欲しい。

また、紙媒体での配布や提出だけでなく、生徒一人ひとりが持っている Chrome

Book の活用など ICT の視点も含めて、行うとよいのではないか。

事務局：まち☆ベジの購入場所について回答する。

J A の野菜直売所等で販売しているが、市内スーパーでの販売は少ない。身近な場所で購入できるよう、関係機関と調整を進めたい。

委員長：その他の取組についても、お話しいただきたい。

委員：保育園において、J A から苗を購入し、園児の手で育てた。収穫した野菜は、給食で提供した。1歳から5歳までそれぞれの年齢に合わせた計画を立てて、食育に取り組んでいる。食べたり育てたりすることの楽しさや大切さを味わうことができればよいと考えている。

今年度は、衣装ケースで稲を育てる予定である。秋には飯ごうでお米を炊いて、食べる予定である。サンマを1尾丸ごと焼いて食べる取り組みも予定している。

また、保護者に給食で人気のレシピを配布したいと考えている。

委員：農家の取組だが、前年度から引き続き、市内小学校に野菜を納品している。各校の栄養士とは情報共有、連携を図っている。今年度の7月12日から15日の間には、市内小学校42校全てに町田市産の野菜を提供した。

6月、7月には小学生が直売所の見学に来た。

委員：栄養士会の活動だが、感染症の影響により料理教室は開催できなかった。

昨年度「まちだくらしフェア」に出展し、免疫力アップの食事、フレイル予防の食事についてのパネル展示、栄養相談を行った。ブースの来場者は100名、栄養相談は30名であった。今年度は同イベントで、子どもが夏休みに簡単に作れる昼食レシピの紹介を行う予定である。栄養週間に重なる実施となるため、栄養ワンダー（日本栄養士会）の資料配布や協賛企業のサンプル配布等を行い、来所者の増加も狙いたい。

委員：観光コンベンション協会の取組として、2点お話しする。

1点目は町田市名産品推進事業についてである。2年に1度認定を行っている名産品について、試食会や販売会などを通じた利用促進を行っていたが、感染症の流行により実施できていない。今年度は「四季彩の杜」を利用して、周知を進めたい。

2点目、各種体験ツアーの実施についてである。

体験型の観光が重視される傾向から、市民に楽しんでもらえる体験型のローカルツーリズムが重要であると考えている。2021年度は市内事業者による和菓子作り体験を開催した。

7 報告

(1) 次期食育推進計画の策定について【資料6】

事務局：現在、2次計画に基づき食育の推進を図っている。2024年度からは次期食育推進計画（以降、「次期計画」と記載）に移行する。

次期計画は、「まちだ健康づくり推進プラン」、「町田市自殺対策計画」と一体化し、「(仮称)次期まちだ健康づくり推進プラン」として策定する予定である。次期計画は健康づくりに重点が置かれることが考えられる。そこで、食育推進計画は従来どおりの個別計画を別途作成することが望ましいと考えている。計画の策定にあたっては、皆様にもご協力いただきたい。

次期計画の策定については、町田市の附属機関である「町田市保健所運営協議会」（以降、運協と記載）で協議する。本委員会代表者として、調所委員長にご出席いただく。

先日行われた運協では、【資料7】【資料8】に記載のとおり、市民意識調査について話し合った。市民意識調査の結果については、集計後報告する。

第1回運協に出席した調所委員長より、一言お願いしたい。

委員長：事務局から報告のとおりである。計画体系が統一されることにより、食育についても保健所全体として、推進力をもって進めることができるのではないかと思う。

委員から策定にあたり意見をいただく場面も多いかと思うが、引き続きご協力願いたい。

(2) SNSの活用、及び食育カレンダーの作成について【資料9】

事務局：SNSについて、2020年9月から「まちだの食のわ」というアカウント名でTwitterとInstagramを開設している。若い世代をターゲットに、食に関する情報を発信している。フォロワーは現在400人弱。

食育カレンダーは、食に関連する日や各団体の取組を共有し、一体的な食育推進を図るため、作成している。昨年度までは半年に1度、紙媒体で発行していたが、今年度からは町田市ホームページにおける電子発行のみとした。

SNSにおいて発信できる情報の提供等、引き続きご協力いただきたい。

委員長：SNSの活用、及び食育カレンダーの作成について、質問等はあるか。

委員：市内飲食店にSNSの二次元コードを貼ってはどうか。街のQRコードを読み取ってフォローする若者も多いと思われる。

また、食育カレンダーとSNSはリンクしているか。

事務局：SNSの紹介カードは作成しているが、主に公共施設で配布している。より市民の目に届きやすいところでの配布を検討したい。

食育カレンダーと SNS の情報は一部リンクしている。

委員長：その他、報告事項や質問等はあるか。

委員：中学生が対象の朝食レシピコンテストについて、今年度の実施対象を伺いたい。

委員長：矢島委員が退出されたため、後日連絡する。

委員長：以上で議事、報告を終了とする。

8 事務連絡

9 閉会

以上